

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和4年第34週（令和4年8月22日～令和4年8月28日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- ・今週は、腸管出血性大腸菌感染症の報告が11件ありました。第34週までの累積報告数は127件で、昨年の同時期（117件・速報値）に比べ多い状況です。腸管出血性大腸菌は、食肉などに付着し、生肉や加熱不十分な肉を食べること等で感染します。調理をする際は、中心部まで十分に加熱（75℃以上で1分以上）し、バーベキューなどを行う際は、生肉専用の箸やトングを使い、食べる箸と使い分けましょう。また、患者の便等で汚染された手を介して人から人へも感染するので、調理時、食事前、トイレやおむつ交換の後には、石けんや流水で十分に手を洗いましょう。
- ・福岡県感染症情報ホームページ(http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。


■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	10	477	203	9,183
腸管出血性大腸菌感染症	11	127	124	1,862
後天性免疫不全症候群	1	46	7	551
梅毒	6	323	149	7,525

※新型コロナウイルス感染症の最新の発生状況等は別紙をご覧ください。

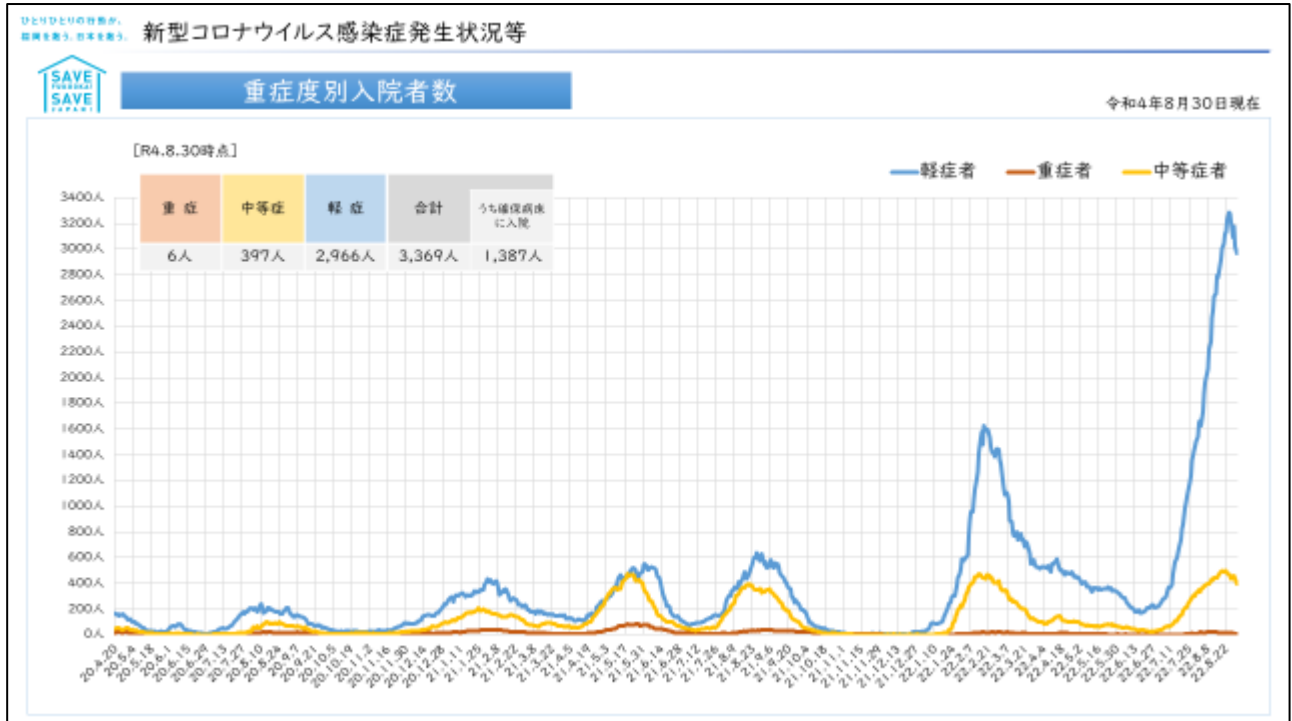
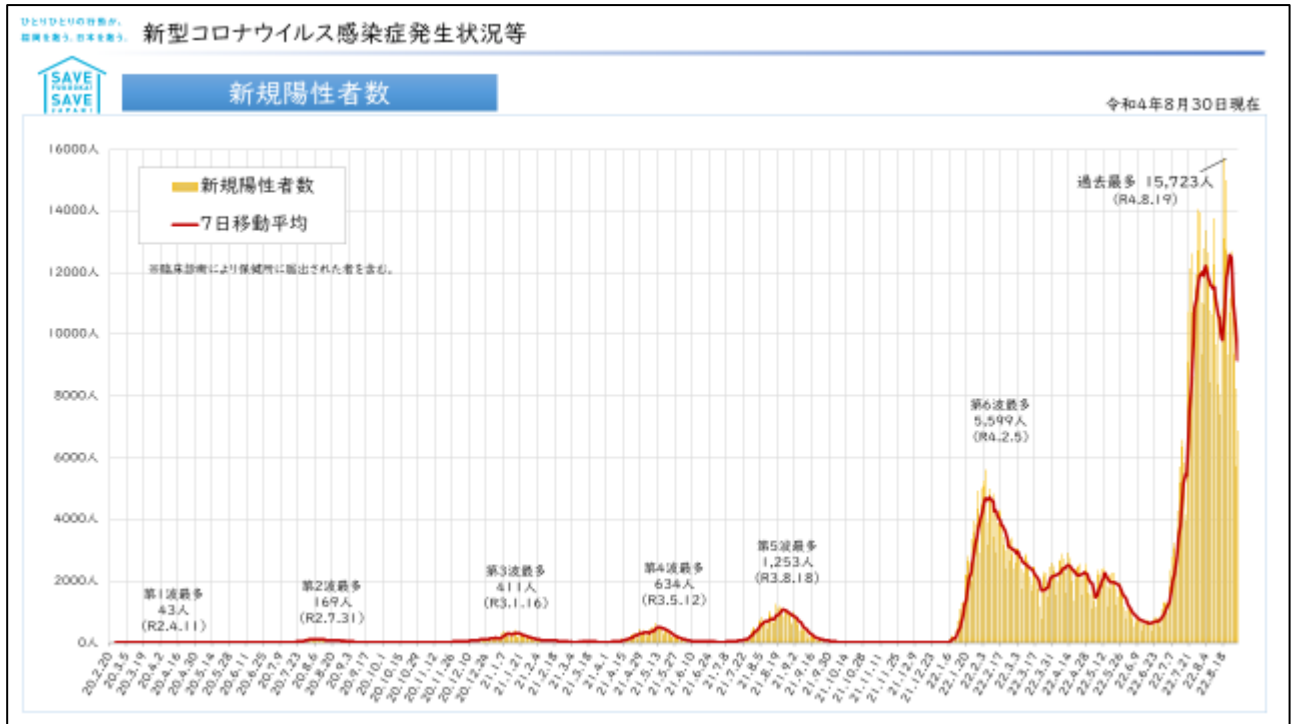
■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル

：注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
インフルエンザ	31	0.16	1.24	137	0.03
RSウイルス感染症	204	1.70	1.23	4,049	1.31
咽頭結膜熱	16	0.13	0.94	224	0.07
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	73	0.61	2.28	561	0.18
感染性胃腸炎	378	3.15	1.12	5,178	1.67
水痘	5	0.04	0.45	173	0.06
手足口病	144	1.20	1.58	8,396	2.71
伝染性紅斑	0	0.00	-	30	0.01
突発性発しん	47	0.39	1.52	650	0.21
ヘルパンギーナ	54	0.45	2.45	1,556	0.50
流行性耳下腺炎	2	0.02	0.33	73	0.02
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	5	0.01
流行性角結膜炎	1	0.04	0.33	119	0.17
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	7	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	2	0.00
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	-	6	0.01
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	1	0.00

○県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況等について



・福岡県では、下記のホームページにて随時、発生状況や感染予防策などの情報提供を行っています。

◇新型コロナウイルス感染症ポータルページ

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html>